

「秋名小学校の島唄・三線・太鼓（チヂン）演奏伝承活動の取組」

1 学校名

龍郷町立秋名小学校

2 学年・人数

全学年（計 22 人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時（場所）： 日曜日（9時～）

龍郷町立秋名小学校体育館・音楽室

(2) 発表の日時（場所）： 令和5年2月5日（日）龍郷町立秋名小学校体育館

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称：奄美島唄・三線・太鼓（チヂン）の演奏

(2) 由来

島唄は、日本本島の民謡では「逃げ」として避けられる裏声による発声を多用し、胴に蛇皮を貼った三線と呼ばれる楽器で演奏される。島唄のシマとは、奄美において「集落」や「生まれ育った故郷」を意味する。島民たちにとって、島唄とは日々の暮らしにとってなくてはならないものである。

(3) 構成等

島唄の原点である八月踊りに欠かせない「踊り」「島唄」「三線」「太鼓（チヂン）」で構成される。島唄・三線・太鼓（チヂン）に焦点をあて、練習の成果を発表する。

5 保存会や地域との連携の具体

学習発表会で発表の場を設定し、スポーツ・カルチャー秋名っ子クラブで練習を行っている。島唄・太鼓（チヂン）については、保護者の西田誉氏に指導をいただいている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が協働して島唄・三線・太鼓（チヂン）を伝承していくために、学校（担当）と唄者・地域・保護者の連絡を密に行っている。また、学校で発表（学習発表会）するだけでなく、地域で行われる様々な行事にも、積極的に参加させるようにしていきたい。

7 取組の様子（練習状況）



【島唄・チヂンの練習】



【学習発表会での発表の様子】

8 参加児童・保護者・保存会・教員等の感想・意見

- 【児童】 三線が少しずつ上手になってきたので嬉しいです。チヂンはたたいているととても気持ちよくて楽しくなります。島唄が上手に歌えて、三線が弾けるようにたくさん練習したいです。
- 【保護者】 奄美の伝統芸能である島唄や三線、太鼓（チヂン）の練習を子供たちにさせていただけるのはとてもありがたいことだと思います。奄美の伝統文化に触れることのできる子供たちはとても幸せだと思います。
- 【地域】 継続した練習をお願いしたいです。そして子供たちが地域行事の中で演奏してくれる日を楽しみにしています。
- 【職員】 「学校で学び 家庭で育ち 地域で伸びる 秋名っ子」 地域の皆さまあつての活動だと感謝しています。